



令和8年10月29日

道路局国道・技術課

道路行政ニーズを実現するためFS研究・短期研究を3件採択します ～「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」募集の審査結果について～

新道路技術会議において、道路行政ニーズを実現するため、FS（フィージビリティスタディ）研究・短期研究として3件採択します。

国土交通省道路局では、「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合し、道路政策の質を一層向上させるため、平成16年10月より新道路技術会議を設置しています。

今回、応募のあった8件について新道路技術会議において審議し、別紙の3件を採択することとしました。引き続き、令和8年度のFS研究・短期研究を継続して募集しています。

※FS研究：本格研究の実施に向けた実行可能性調査として実施するもの

短期研究：短期的に実施可能な小規模な研究開発

＜応募の期間＞

応募期間	審査	採択
3月～11月	随時	3件（今回）

＜応募要領等＞

- FS研究・短期研究 募集要領及び提案様式

(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/shinki/koubo.html>) 国土交通省 HP

- 道路行政の技術開発ニーズ

(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>) 国土交通省 HP

＜問合せ先＞

道路局 国道・技術課 企画専門官 児玉、係長 中里

代表：03-5253-8111（内線 37862、37866）、直通：03-5253-8498



FS/短期	道路行政ニーズ	研究テーマ名	提案概要	研究代表者名
短期	道路の多様なストック効果計測及び3便益重視の事業評価制度改善のための手法検討	道路のストック効果計測のための簡易土地利用交通モデルについての技術研究開発	本研究は道路のストック効果を計測するための簡易土地利用交通統合モデルの開発を目的とする。便益評価においては、時間短縮効果、居住厚生、地代収入変化を分離して推計する。また、推計交通量から CO2 排出量を推計可能なモデルとする。	大阪大学大学院工学研究科 教授 紀伊 雅敦
短期	路面下空洞の簡易的な把握技術	X 線レントゲン撮影を用いた地盤内部における空洞化の発生・進展のリアルタイム計測と陥没リスク評価法の構築	地中空洞化の発生から進展、さらに道路陥没に至るまでの一連の過程を X 線ラジオグラフィによって可視化し、空洞化および道路陥没が発生・進展しやすい条件を整理する。この知見に基づき、将来的には道路陥没の予測法や発生リスク評価法の確立を目指す。	広島大学 准教授 木戸 隆之祐
FS	多様なモビリティの安全な走行空間及びモビリティ・ハブの整備促進に向けた手法開発	多様なモビリティが混在する道路空間の安全性評価に資する国内交錯データの収集と基礎解析についての技術研究開発	歩行者と自動運転車等が混在する一般道路空間を対象に、路車協調システムの国内実証実験で取得された交錯挙動データを収集し、交錯状況の基本特性の整理と交通行動モデルによる相互作用行動の分析・検証を行うもので、本格研究の実施に向けた実行可能性 (FS) 研究である。 本 FS 研究の成果を踏まえ、対象事例を拡大した交錯データの横断的整備と、交錯秩序の形成条件に基づく道路空間の設計・運用手法の開発を本格研究として実施する。	東京大学大学院工学系研究科 教授 福田 大輔